

横浜市病院協会 令和元年度第1回地域医療検討会開催結果概要

1 開催概要

国は、すべての医療機関が地域医療構想調整会議に参加することが難しい場合には、構想区域の実情に合わせて医療機関同士の意見交換等の場を組み合わせながら実施するなどして、より多くの医療機関の主体的な参画が得られるよう進めていくこととしています。

神奈川県は神奈川県病院協会に委託して各地域において検討会を立ち上げることとし、横浜市病院協会は今後の医療需要の増加を踏まえ、地域で必要となる医療機能等について、幹事病院を定めてエリアごとに地域医療検討会を平成30年度から開催しています。

本年度も引き続き開催し、各医療機関で話し合いを行いました。

2 議題等

(1) 情報共有・意見交換

- ①横浜市の現状について
- ②増床する（平成30年度に病床配分を受けた）医療機関からの整備計画の報告
- ③機能転換する（令和元年度予定）医療機関からの整備計画の報告
- ④その他

3 会議の状況

各回共通

- ・増床する（平成30年度に病床配分を受けた）医療機関・機能転換する（令和元年度予定）医療機関の整備計画を共有
- ・上記の整備計画に対する意見は特にありません

東 部	開催日時	元年 6 月 10 日 (月) 18:00~	○病床数が少なく、引き続き、地域包括ケアと慢性期は必要である。 ○地域包括ケアの在宅復帰率を勘案すると介護医療院の整備が必要である。 ○回復期リハは、このエリアは充足しているが不足している地域もある。リハの病床エリアを考える必要がある。 ○応募が多く看護師の採用を断る医療機関がある一方で、必要な看護師が採用できない医療機関がある。地域枠看護師として確保できないか地域で検討したい。 ○各医療機関の連携を図る ICT を活用した新たな取組が紹介された。
	参加病院数	19 病院	
中 心 部	開催日時	元年 6 月 13 日 (木) 17:30~	○国の動向等の情報提供・共有も必要である。 ○機能分化が進むと連携が重要になる。情報共有・意見交換を進めていく。
	参加病院数	28 病院	
南 部	開催日時	元年 6 月 25 日 (火) 18:30~	○外国人看護師は優秀だが言葉の壁が厚く難しい面がある。状況について情報交換をすることはできる。 ○高齢化・人口減少に対するまちづくりの中で、病院運営を考える必要がある。
	参加病院数	17 病院	

西部	開催日時	元年7月4日 (木) 15:30~	<p>○満床のため、回復期リハを増床したいとの意見があった。</p> <p>○30年度の病床配分があったが、このエリアでの回復期の配分がなく、不足(特に地域包括ケア病床)している実感がある。</p> <p>○病床総数はいずれ患者の減少が見込まれること、人材不足(介護士)の課題があることから、できれば増床より転換が望ましい。</p> <p>○西部病院の転換計画に対し、病床整備には時間がかかること、不足している機能であること、急性期機能を確保する目的であることから必要ではないかという意見があった。</p>
	参加病院数	22 病院	
南西部	開催日時	元年7月5日 (金) 19:00~	<p>○慢性期病床の稼働率は高い水準にある。急性期の受入先として回復期、慢性期の増床は心強い。</p> <p>○外国人人材の活用について、情報共有がされた。</p> <p>○働き方改革について情報交換をしたいとの意見があった。</p>
	参加病院数	17 病院	
北東部	開催日時	元年7月11日 (木) 15:00~	<p>○急性期の受入先として地域包括ケアの増床を希望しているとの意見があった。</p> <p>○急性期から地域包括ケアへの転換を計画している病院、慢性期から地域包括ケアへの転換を計画している病院があった。</p> <p>○人材確保について議論していく必要がある。</p>
	参加病院数	17 病院	
北部	開催日時	元年7月23日 (火) 15:00~	<p>○慢性期病床の稼働率が高い水準にある。増床を計画しているという病院や急性期から地域包括ケアへの転換を計画している病院があった。</p> <p>○高齢化が著しい地域への対応として、訪問診療等の充実を図る方針であるという病院があった。</p> <p>○介護施設が増加する中で、急性期後の受け皿に苦慮している。連携を進めていきたいとの意見があった。</p> <p>○救命措置の要否の情報共有を地域として進めていく必要がある。</p> <p>○組織化されていない在宅医等との連携が課題である。</p>
	参加病院数	17 病院	

5 まとめ

○各エリアで、増床する医療機関、機能転換する医療機関の整備計画の情報共有・意見交換を行い、それぞれの医療機関において今後の医療機能等を考える材料になったものと考えます。

○病床が不足しているというエリア、できれば転換が望ましいというエリアがあり、各エリアの状況を踏まえた意見がありました。

○看護師不足など地域における課題に対する新たな取組の情報共有や意見交換も始められ、今後連携を促進する場として、検討会が機能することを期待します。